

### 産産学官連携 エコシステムの過去、現在、未来 ～ヘルスケア分野を中心に～

講師

## 澤田 拓子

塩野義製薬株式会社

取締役副社長、ヘルスケア戦略本部長



京都大学農学部卒業後、塩野義製薬株式会社に入社。  
一貫して開発畑を歩み、2002年4月医薬開発部長 2007年執行役員  
医薬開発本部長、さらに Global Development 統括などを経て 2016  
年取締役専務執行役員経営戦略本部長、2018年取締役副社長、2020  
年取締役副社長兼ヘルスケア戦略本部長（現職）。2017年ペプチスター  
創業取締役、2019年ストリーム・アイ創業、代表取締役

COVID pandemic による経済的社会的インパクトは感染者数や死亡者数が示す以上に大きく、世界中が課題解決に向けて大きく舵を切っている。この課題解決に向けての種々の技術革新ならびに産産学官連携の進化は著しく、数年を要すると考えられていた変化が一時に集約された感がある。それは未曾有な社会的難題を前に人類が総力を結集した結果でもあったが、残念ながら、日本はワクチン競争などでは欧米に大きく後れを取る結果となった。その原因を振り返るとともに今後この変化を経験して、さらに変革が加速していく世界に伍していくための課題や対策を考えてみたい。

一方、技術的ブレイクスルー、データを活用したビジネス変革、デジタル技術を使った新規ビジネスの創出等を積極的に進めて行くべきであるが、そのためには異業種やアカデミア、競合する企業などとも連携することが必要となる。業態も文化も異なる相手と協創体制を確立するための必要条件は何か？演者の経験をもとに述べる。

日時

## 2021. 7. 28 (水) 18:00～19:00

会場・定員

## オンラインセミナー (Zoom 開催) ・450 名

申し込み

以下の申し込みフォームまたは、QR コードから 7 月 26 日 (月) までにお申し込みください。(開催までに参加 URL をお送りします)  
<https://forms.gle/HJsdUiR6rEFYS8Tx8>

◆ 公開セミナーとして開催されますので、どなたでもご参加いただけます



## 未来型医療創造卓越大学院プログラム

共催：東北大学病院臨床研究推進センターバイオデザイン部門